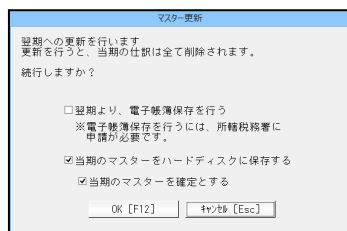


●学校法人α Version 4.503

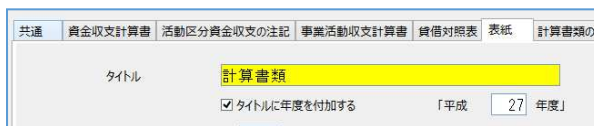
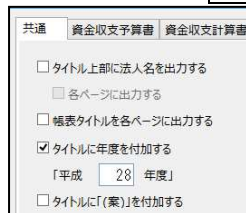
当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっています。

《導入・更新》

- ◆ 翌期更新時に電子帳簿保存の注意文言を追加しました。

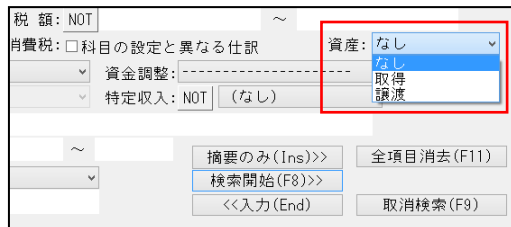


- ◆ 決算書 [F6] 項目登録の共通タブの「タイトルに年度を付加する」の値を更新時に加算するようにしました。翌期更新後、「平成 [] 年度」の値が+1 されます。表紙タブの年度の値も+1 されます。



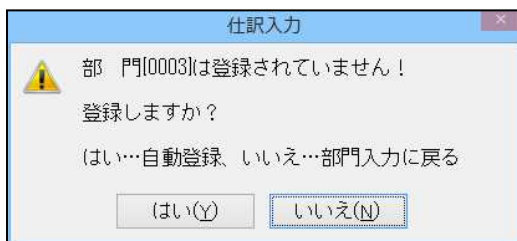
《登録・入力》

- ◆ 仕訳入力の検索項目に「資産：取得/譲渡」の条件を追加しました。「なし」・「取得」・「譲渡」から選択可能です。



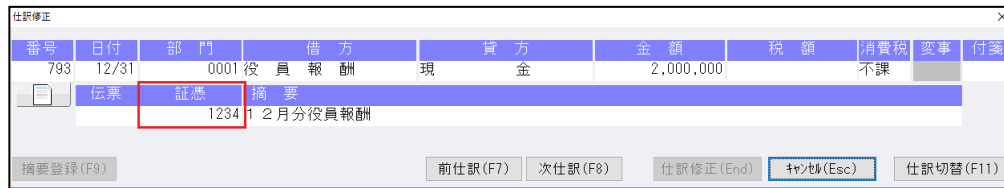
取得・・・「取得譲渡：取得、取得（相殺）」の仕訳を検索します。
 譲渡・・・「取得譲渡：譲渡、譲渡（相殺）」の仕訳を検索します。

- ◆ 未登録部門を入力した時、通常入力と同じメッセージを表示して、カーソルを「いいえ」に置くように動作を統一しました。

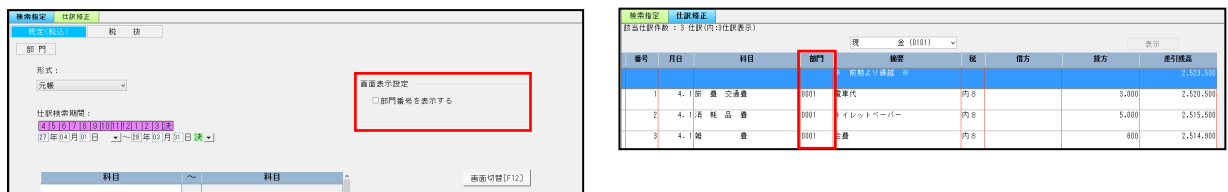


◆ 元帳検索において以下の対応を行いました。

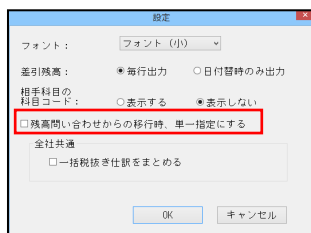
- 証憑番号の確認、修正ができるように対応しました。



- 元帳検索指定画面に「部門番号を表示する」機能を追加しました。「部門番号を表示する」にチェックを付けると、仕訳修正画面に「部門」の列が表示されます。



- [F6 設定] 画面に「残高問合せからの移行時、単一指定にする」を追加し、チェックON時は、該当科目のみ読み込むように対応しました。元帳検索の検索指定で単一科目だけを指定した状態と同じになります。



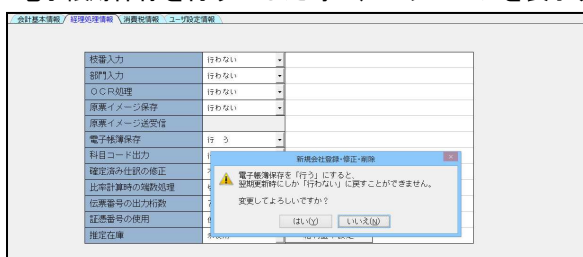
- 検索指定で、単一科目指定で検索を行い、その後に検索指定で前回選択科目を含む科目範囲指定をして仕訳修正画面を表示すると、前回検索した科目から表示していたのを、範囲指定の先頭科目から表示するようにしました。
例：「当座預金2」を検索した後、「当座預金1」～「当座預金3」で検索すると、「当座預金2」が表示されていたのを、「当座預金1」を表示するようになります。

《元帳検索補足》

- ・ 検索指定画面で各設定等を変更して再検索すると、先頭の科目に戻すようにしています。経理処理・部門・形式・仕訳検索期間・画面表示設定等の切替が該当します。
※科目指定を行っている場合は指定している科目範囲の先頭の科目を表示します。
※科目指定を行っていない場合は発生のある先頭の科目（諸口・現金等）を表示します。

◆ 新規会社登録・修正・削除において以下の対応を行いました。

- 電子帳簿保存を行うにした時に、メッセージを表示するようになりました。



- ワイド画面で起動後、画面を最小化後、最大化した場合など、一部表示位置がずれていたのを修正しました。

業種区分	選択してください	
処理形式	法人事業	
会社コード	年 次	付加して印刷する
法人番号		付加
会社名		
R O 音		
決算期		
決算期前 期首		
決算期 期末		
締日		
入力開始処理月		
決算修正処理	行う（期末決算）	

《出力》

- ◆ 総勘定元帳出力設定画面において、枝番の選択で、番号欄にカーソルを置かずに、▼をクリックすると、枝番一覧が表示されなかったのを修正しました。[F8 合計転記] も同様の対応を行っています。

以上